

# 2年生 「いのち・こころ・からだの学習」をしました

これは保健の学習として全学年で実施しているもので、学年ごとに題材、目標、指導内容が決められています。今回は2年生の学習をのぞいてみました。



- 2年生の題材は「わたしのたんじょう」です。  
目標は
- ①自分は両親の愛情が結ばれて生まれてきたことを知り、自分の命をたいせつにしようとする。
  - ②精子と卵子が結びついて赤ちゃんができることを知る。

「お母さんの体の中で作られた卵子と、お父さんの体の中で作られた精子が一緒になって、赤ちゃんが育ち始めます。」

『ふうん、初めて聞いたよ』



何やら黒い紙を渡されて、覗いています。  
『えっ、こんなに小さいの！』『卵なのにこんななの？』  
針で開けた穴をのぞき込んで卵子の大きさを確かめました。



これは本当の赤ちゃんと同じ大きさと重さがある人形です。  
「おおっ、かわいい、かわいい。」  
「抱っこしてみたい？」  
『抱っこしてみたい！！』  
『抱っこしたことあるよ！』  
「じゃあ、後で抱っこしてもらおうかな」

「あなた達の命は、お父さん、お母さんから受け継いだ大切なものなのです。」



最後に今日の学習で分かったこと、不思議に思ったことをまとめて、発表もしました。このプリントは持ち帰って「おうちの人から一言」に言葉を書いてもらいました。



先ほどのお約束。赤ちゃんをだっこしました。  
『あんがい重いね。』  
『うわあ、かわいい』  
「あなた達も、こんな赤ちゃんの時があったのですよ。」

担任と養護教諭とが、連携し工夫して学習に臨んでいます。